

2024 SEASON SCHEDULE

阪神甲子園球場開催予定試合日程表

3月

日	Sunday	月	Monday	火	Tuesday	水	Wednesday	木	Thursday	金	Friday	土	Saturday
25		26		27		28		29		1		2	
3		4		5		6		7		8		9	
10		11		12		13		14		15		16	
17		18	19	20	21	22	23						
24		25		26		27		28		29		30	
31													

31 選抜:第96回選抜高等学校野球大会

4月

日	Sunday	月	Monday	火	Tuesday	水	Wednesday	木	Thursday	金	Friday	土	Saturday
31		1		2		3		4		5		6	
7		8		9	18:00 広島	10 18:00 広島	11 18:00 広島	12		13			
14		15		16	18:00 巨人	17 18:00 巨人	18 18:00 巨人	19	18:00 中日	20 14:00 中日		14:00 中日	
21	14:00 中日	22		23		24		25		26 18:00 ヤクルト		27 14:00 ヤクルト	
28	14:00 ヤクルト	29		30		1		2		3		4	

KIDS:KIDSスペシャルデー KIDSレッスンバックプレゼント(入場券をお持ちの小学生以下の子供のみ)
こども祭:こどもまつり KIDSユニフォームプレゼント(入場券をお持ちの小学生以下の子供のみ)

5月

日	Sunday	月	Monday	火	Tuesday	水	Wednesday	木	Thursday	金	Friday	土	Saturday
28		29		30		1		2		3		4	
5		6 18:00 広島	7 18:00 広島	8 18:00 広島	9	10		11					
12		13		14		15		16		17 18:00 ヤクルト	18 14:00 ヤクルト		
19	14:00 ヤクルト	20		21		22		23		24 18:00 巨人	25 14:00 巨人		
26	14:00 巨人	27		28 18:00 日本ハム	29 18:00 日本ハム	30 18:00 日本ハム	31	1					

Family:Family with Tigers Day 選手なりきりお面プレゼント ※座布団プレゼント
TORACO①:TORACO DAY TORACOユニフォーム(女性のみ) 交流戦:日本生命セ・パ交流戦
TORACO②:TORACO DAY TORACOチケットホルダー(女性のみ)
TORACO③:TORACO DAY TORACOメッシュエコバック(女性のみ)

6月

日	Sunday	月	Monday	火	Tuesday	水	Wednesday	木	Thursday	金	Friday	土	Saturday
26		27		28		29		30		31		1	
2		3		4 18:00 楽天	5 18:00 楽天	6 18:00 楽天	7 18:00 西武	8 14:00 西武					
9	14:00 西武	10		11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20		21 18:00 DeNA	22 14:00 DeNA		
23	14:00 DeNA	24		25		26 18:00 中日	27 18:00 中日	28		29			
30													

交流戦:日本生命セ・パ交流戦
★①:KIDSスペシャルデー KIDSレッスンバックプレゼント(入場券をお持ちの小学生以下の子供のみ)
★②:Family with Tigers Day 駅員風紙製組み立て帽プレゼント
トラフェス①:トラフェス フードタオルプレゼント
トラフェス②:トラフェス Tシャツプレゼント

7月

日	Sunday	月	Monday	火	Tuesday	水	Wednesday	木	Thursday	金	Friday	土	Saturday
30		1		2		3		4		5 18:00 DeNA	6 18:00 DeNA		
7	18:00 DeNA	8		9 18:00 ヤクルト	10 18:00 ヤクルト	11		12		13			
14		15		16		17		18		19 18:00 広島	20 18:00 広島		
21	18:00 広島	22		23		24		25		26 18:00 中日	27 18:00 中日		
28	18:00 中日	29		30 18:00 巨人	31 18:00 巨人	1		2		3			

こども祭:こどもまつり KIDSハッピープレゼント(入場券をお持ちの小学生以下の子供のみ)
ウル虎の夏:ウル虎の夏 ウル虎ジャージプレゼント
KCS①:KOSHIE CLASSIC SERIES 甲子園100周年記念タプロイドプレゼント
KCS②:KOSHIE CLASSIC SERIES 甲子園100周年記念ボールプレゼント(入場券をお持ちの小学生以下の子供のみ)

8月

日	Sunday	月	Monday	火	Tuesday	水	Wednesday	木	Thursday	金	Friday	土	Saturday
28		29		30		31		1 18:00 巨人	2 18:00 KCS③	3			
4		5		6		7 全高野球	8	9	10				
11		12		13		14		15		16		17	
18		19		20		21		22		23 全高野球	24		
25		26		27		28		29		30 18:00 巨人	31 18:00 巨人		

KCS③:KOSHIE CLASSIC SERIES 甲子園100周年記念キャップ+観戦証明書プレゼント
全高野球:第106回全国高等学校野球選手権大会

9月

日	Sunday	月	Monday	火	Tuesday	水	Wednesday	木	Thursday	金	Friday	土	Saturday
1 18:00 巨人	2	3 18:00 中日	4 18:00 中日	5 18:00 中日	6	7							
8		9		10 18:00 DeNA	11 18:00 DeNA	12 18:00 DeNA	13 18:00 広島	14					
15 18:00 ヤクルト	16 14:00 ヤクルト	17		18		19		20		21			
22 18:00 巨人	23	24		25		26		27		28			
29		30		1		2		3		4		5	

Family:Family with Tigers Day 気合いの応援たすきプレゼント



広報誌

Public Relations Magazine

2024.3

2024 SEASON SCHEDULE

DTSは、2024年に開場100周年を迎える阪神甲子園球場に社名広告を出します。

日本最古という伝統を礎に次の未来を目指していく甲子園の姿は、創立50年を超えたDTSの「チャレンジし続け、常に変化を楽しむ」経営方針とも融合する価値観であると考えています。

DTSでは創業時から野球チームが活躍しており、野球の聖地からDTSの存在を日本全国へ発信しはじめることにワクワクしています。

社名広告をきっかけに、DTSのトータルシステムインテグレーター(Total Sler)としての実績と実力を皆さまに知って頂けるようDTSグループ社員一同、邁進してまいります。



広報誌

Public Relations Magazine

CONTENTS

- 04 今おすすめのソリューションをご紹介します
- 06 特集「DTSと野球」
- 08 阪神甲子園球場100周年
- 10 スペシャルインタビュー
阪神タイガース木浪聖也選手
×DTS野球部安達淳也
- 16 DTS野球部選手紹介
- 18 DTS野球部試合日程
- 19 DTS野球部部長、監督メッセージ

お客様のビジネスをDXで強くする
トータルSlerのDTS

今おすすめの ソリューションをご紹介します

自動車部品業界に特化したシステム開発を推進！
「mcframe」の国内トップシェアを目指していきます。

生産管理・原価管理に強みがあり、パッケージでありながらユーザー固有のニーズに対応可能な「mcframe(エムシーフレーム)」を活用し、自動車部品業界に特化したシステム開発を推進していきます。2023年度は大型案件を2件立ち上げました。DTSの体制全体の経験値も高まっています。2024年からはグループ企業とパートナー企業との連携を深め、さらにシェア拡大を目指していきます。



お問い合わせ： デジタルソリューション事業本部

不正出金や振込詐欺などの
金融犯罪の拡大を防止



「AMLion(アムリオン)」は、銀行・証券・保険・カードなど金融のあらゆる業態を対象としたマネー・ローンダリング対策パッケージソフトです。「AMLion」は、顧客リスク評価、ウォッチリスト照合、取引モニタリングというマネー・ローンダリング対策に必要な機能をワンパッケージでご提供。厳格な顧客管理と適切なリスク検知を実現します。

お問い合わせ： 金融事業本部

社内の「分からない」をふたつの窓口でスピード解決！
有人の社内ヘルプデスク代行とFAQシステムがセットになった
DTSのBPOサービス

手間がかかり、改善しにくい社内ヘルプデスク業務を一括代行します。専用の社内FAQページもセットでご提供することで、自己解決型の社内サポート体制を確立します。導入後のFAQの追加更新もお任せください。役立つFAQとヘルプデスクで社内の利用促進も支援します。



お問い合わせ： ITプラットフォームサービス事業本部

住宅建築業界向けにDXを推進！

DTSの住宅業界向けDXでは、お客様への営業活動から設計・受発注・行程管理・アフターフォローまでシステムを一元化します。DTS独自のソリューションである「Walk in home(ウォークインホーム)」では間取りを入力するだけで図面や高画質なCGパース図まで完成できます。「HOUSING CORE(ハウジングコア)」では基幹システムとして各種管理機能を提供します。データ分析、可視化により効率的な経営を実現します。



お問い合わせ： 法人ソリューション事業本部

ゼロトラスト

安心してDXを推進するために
ゼロトラストセキュリティを事業基盤へ

ゼロトラストセキュリティは、組織内外を問わず、全てのネットワークトラフィックを信用しないという原則に基づいています。アクセスする前に、ユーザー、デバイス、アプリケーションの厳格な認証と承認を必要とし、最小限のアクセス権限を与えることで、内部からの脅威にも対応します。2024年にはこれらの仕組みを用いてデジタルワークプレイス領域のサービスやクロスセルに展開していきます。セキュリティ対策ソリューションについては、サードパーティー製品を組み合わせて、メニュー化されたサービスをご提供していきます。

お問い合わせ： デジタルソリューション事業本部

ITSM導入支援

ばらばらになっている
ITサービスを一元管理
IT運用業務の効率と品質を改善

Jira Service Managementなどのシステムを活用し、ITSMの導入から活用までをまとめて支援します。DTS独自のITSMフレームワークによりJira Service Managementを構築し、ITサービス管理に欠かせないプロセスを、迅速に標準化・最適化します。数多くの現場で運用経験を積んだプロが、お客様の状況に応じてITSMを定着させ、業務改善を実現します。

お問い合わせ： ITプラットフォームサービス事業本部

特集 DTSと野球

DTSは、2024年に開場100周年を迎える阪神甲子園球場に社名の広告を出します。これを記念して、DTSと野球について特集を組みました。阪神タイガースの木浪選手とDTS野球部の安達選手とのスペシャル対談もお楽しみください。

2009年5月23日 TJK大会 準優勝



2010年9月26日 IPIリーグ 準優勝



2011年5月21日 TJK大会 準優勝



2012年6月2日 TJK 優勝



2012年10月28日 日刊スポーツ杯 優勝



2013年10月27日 日刊スポーツ杯 優勝



2022年5月28日 TJK大会 優勝



2022年10月30日 IPIリーグ 優勝



優勝回数：TJK事業所対抗軟式野球大会18回、日刊スポーツ杯2回、IPI軟式野球リーグ13回

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
TJK事業所対抗軟式野球大会	第28回 優勝	第29回 準優勝	第30回 準優勝	第31回 優勝	第32回 準優勝	第33回 優勝	第34回 準優勝	第35回 優勝	第36回 準優勝	第37回 優勝	第38回 ベスト8	第39回 優勝	第40回 準優勝	第41回 優勝	第42回 準優勝	第43回 準優勝	第44回 優勝	第45回 中止	第46回 中止	第47回 優勝	第48回 準優勝
日刊スポーツ杯	第27回 途中敗退	第28回 —	第29回 —	第30回 3位	第31回 —	第32回 途中敗退	第33回 —	第34回 準優勝	第35回 —	第36回 優勝	第37回 優勝	第38回 —	第39回 —	第40回 同立3位	第41回 —	第42回 —	第43回 中止	第44回 中止	第45回 中止	第46回 辞退	第47回 —
IPI軟式野球リーグ	第13回 優勝	第14回 優勝	第15回 3位	第16回 準優勝	第17回 準優勝	第18回 3位	第19回 3位	第20回 準優勝	第21回 準優勝	第22回 優勝	第23回 優勝	第24回 優勝	第25回 準優勝	第26回 準優勝	第27回 準優勝	第28回 3位	第29回 優勝	第30回 中止	第31回 中止	第32回 優勝	第33回 —



阪神甲子園球場 100周年

100周年を迎えて

阪神甲子園球場が完成した1924(大正13)年は、暦の干支を構成する「十干」と「十二支」それぞれの最初である「甲」と「子」が合わさる縁起のよい年だったため、この付近一帯は「甲子園」、野球場は「甲子園大運動場」と名付けられました。開場日となる8月1日には、午前7時から関係者1,000人を招いた竣工式が行われ、続いて、阪神間の小学校から集まった2,500人の児童による阪神間学童体育大会が開催されました。以降、全国中等学校優勝野球大会、全国選抜中等学校野球大会の舞台や、阪神タイガースのホームスタジアムとして稼働し、1964年に現在の阪神甲子園球場に名称変更して今に至ります。

その阪神甲子園球場は2024年8月1日に開場100周年を迎えます。これに伴い、2022年8月1日(月)から「KOSHIEN CLASSIC ~感謝を、伝統を、次の100年へ~」をコンセプトに、阪神甲子園球場100周年記念事業が始動しています。

2024年も、「甲子園および周辺部の周年装飾の実施」「コンコース内のデジタルサイネージ増設と試合連動の演出」「日本将棋連盟×阪神甲子園球場 100周年記念対局(藤井聡太竜王・名人と羽生善治九段の対局)」など、様々な取り組みが進んでいます。

また、7月30日から、開場100周年を迎える8月1日までの3日間、阪神甲子園球場において開催されるプロ野球公式戦(阪神対巨人)は、“KOSHIEN CLASSIC SERIES”と銘打ち開催されます。3連

戦それぞれの日にテーマを設定(7/30「夢の再現」、7/31「夢は叶う」、8/1「夢の協演」)。同シリーズの3日間は、「超満員プロジェクト」として、1塁・3塁の両アルプススタンドの座席数が拡大されます。来たる100周年をより多くの野球ファンの皆様と迎えたいという想いから、47,000人規模のお客様にご来場いただける準備を整えて開催されます。

このような様々な事業を通して、国内外の人々に野球の聖地としての甲子園球場の歴史と伝統を知ってもらうとともに、次の100年に向けた成長のため、次世代育成や環境保全にもつながる事業を積極的に推進し、さらには、最高峰のスポーツ・エンタテインメントを誘致・開催するなど、野球に限らないスタジアムの新たな可能性を広げていくことで、「日本が世界に誇れる聖地」を掲げています。

阪神甲子園球場の誕生

阪神電鉄と野球場のかかわり

1905年、神戸~大阪間の営業運転を開始した阪神電鉄が、シカゴ大学対早稲田大学による野球部の国際試合のため、香栞園に急造のグラウンドを作ったのが今からおよそ100年前、1910年のことでした。当時はまだ日本に野球が伝えられて間もない黎明期でしたが、その後阪神電鉄は鳴尾競馬場内に総合運動場を造成。1917年にはそこが全国中等学校優勝野球大会の第3回目の会場となり、阪神甲子園球場が

誕生するまでの7年間、「夏の甲子園」として今なお続く、歴史ある高校野球の初期を支えていました。このように、明治時代終盤から大正時代にかけて、大学野球のリーグ戦開始や実業野球の興隆、中等学校野球大会など、国民レベルでの野球人気が一気に熱を帯びてきました。そんな時代背景が、阪神甲子園球場の建設へとつながります。

国民待望の一大プロジェクト

1922年、過去に幾度と無く氾濫を繰り返した武庫川の改修計画に絡み、その支流である枝川と申川の河川敷の土地を、阪神電鉄が住宅地とレクリエーション施設用地として兵庫県から買い取りました。一方でその頃の鳴尾球場は、野球熱の高まりもあって手狭になり、継続開催されていた全国中等学校優勝野球大会では、押し寄せた観客が球場からグラウンドに溢れ出ることもあるほどでした。「新たに大きな野球場を」という世間の声が高まったのも自然な流れ。そこで阪神電鉄は払い下げられた枝川と申川の三角州地帯に、収容人員5万人という、かつて無い画期的な新球場を建設する決断を下したのです。早速、建設工事は1924年3月11日に起工。急ピッチで工事は進められ、ついに8月1日、外部正面四階建て、鉄筋コンクリート造りで50段のスタンドを持ち、甲子園のシンボルともなる大鉄傘で覆われた内野席と、一部に20段の木製スタンドを備えた「甲子園大運動場」が誕生。第10回目となる全国中等学校優勝野球大会が開催されました。

100周年の歩み

- 1923.11.28 球場建設を決定
- 1924.3.11 起工式
- 1924.8.1 竣工式 甲子園大運動場と命名
- 1924.8.13 第10回全国中等学校優勝野球大会開催
- 1924.12 ツタ植栽
- 1925.3.31 第2回全国選抜中等学校野球大会開催
- 1926.7.16 阪神電車の甲子園駅常設
- 1927.8.13 第13回選手権大会で日本初のスポーツ実況中継(ラジオ)
- 1928.12 芝生張付け開始
- 1929.2 芝生張付け終了
- 1929.7.20 アルプススタンド建設
- 1931.7.18 アルプススタンドにも鉄傘建設
- 1932.10.1 1塁側アルプススタンド下に室内運動場、3塁側アルプススタンド下に長さ25mの室内温水プール完成
- 1934.3 外野中央にスコアボード完成
- 1934.8.11 野球塔建設(現在の甲子園警察署付近)
- 1934.11.24 ペーパ・ルースらのアメリカ選抜チームが全日本と対戦
- 1935.12.10 大阪野球倶楽部(通称 大阪タイガース)誕生
- 1936.11.11 外野スタンド改装
- 1938.1.9 全日本選抜スキー・ジャンプ甲子園大会開催
- 1943.8.6 大鉄傘供出
- 1945.8 西宮大空襲
- 1945.10.3 アメリカ軍に球場接収
- 1947.1.10 グラウンドとスタンドの接収解除
- 1947.3.30 選抜大会復活(以降、選抜高等学校野球大会として現在まで開催)
- 1947.5.26 ラッキーゾーン登場
- 1947.8.13 夏の大会も復活(以降、全国高等学校野球大会として現在まで開催)
- 1951.8 内野スタンドに大屋根(銀傘)復活
- 1953.8.13 第35回全国高等学校野球選手権大会でテレビ中継開始
- 1954.3.31 球場全面的に接収解除
- 1956.4.25 ナイター設備竣工
- 1956.5.12 初ナイター試合(阪神-巨人戦)
- 1958.4.1 選抜野球塔 建立
- 1958.8.8 第40回全国高等学校野球選手権大会に沖縄代表初参加(首里高校)
- 1961 球場正面に高速道路ができる
- 1964.2.14 球場名を甲子園球場から阪神甲子園球場に変更
- 1974 第56回選抜高等学校野球大会より金属バットの使用開始
- 1976 特別指定席をプラスチック製の個人掛け椅子に改造
- 1982.3 銀傘ふきかえ(アルミ合金)
- 1984.3.6 三代目(電光式)スコアボード完成
- 1985.2 各スタンド改造 周辺改良工事
- 1991.12 ラッキーゾーンを撤去、それに伴いブルペンを移設
- 1993.3 スコアボードをカラー化
- 1994.10 「甲子園大運動場建設記念碑」建設
- 1995.1.17 阪神・淡路大震災
- 2004.3 阪神タイガース新室内練習場完成
- 2004.8.1 阪神甲子園球場80周年
- 2005.3 フリーボードをCRTからLEDに更新
- 2007.2 阪神タイガースクラブハウス完成
- 2007.10 リニューアル工事着工(第1期)
- 2010.3.12 リニューアル工事完了
- 2014.8.1 阪神甲子園球場90周年
- 2019.3 スコアボードを一面化・大型化
- 2019.8.1 阪神甲子園球場95周年
- 2020.3 甲子園駅前広場の整備事業が竣工
- 2021.12.9 KOSHIEN “eco” Challenge宣言
- 2022.3 ナイター設備をHID式からLED式に更新
- 2022.3.3 甲子園歴史館10周年、甲子園プラスに一部拡張移転のうえリニューアルオープン
- 2022.8.1 阪神甲子園球場100周年事業始動
- 2024.8.1 阪神甲子園球場100周年

DTS野球部
安達淳也

昨年、18年ぶりのリーグ優勝と38年ぶりの日本一を達成した阪神タイガース。その本拠地である阪神甲子園球場(兵庫県西宮市)に、今季から我が社がネーミングライツ(命名権)を取得したボックスシート「DTSボックス」と、広告看板が設置されます。今回そのご縁もあり、沖繩・宜野座村での春季キャンプを訪問。DTS野球部所属の安達淳也氏と、亜細亜大時代の後輩・木浪聖也選手が対談を行いました。(取材日:2月4日 取材協力:月刊タイガース)

夢の先に
あるもの

木浪聖也 きなみ せいや

阪神タイガース 内野手 背番号0
1994年6月15日生 青森県出身
179cm/83kg 右投左打

青森山田高から亜細亜大、Hondaを経て、2018年度ドラフト3位で阪神タイガースに入団。ルーキーイヤーの2019年はショートのポジションで開幕スタメンをつかみ、同期入団・近本光司選手との「キナチカ」コンビとしてブレイクした。2年目は降は徐々に出場機会が減少するも、5年目の昨年、再びショートのレギュラーを奪取。「恐怖の八番」としてほぼ全てでキャリアハイの成績をマークし、18年ぶりのリーグ優勝、38年ぶりの日本一に大きく貢献した。

安達淳也 あたち じゅんや

プラットフォーム&サービスセグメント
ITプラットフォームサービス事業本部
第二ITプラットフォームサービス事業部
BPO第2担当 テクニカルエンジニア
1993年4月10日生 東京都出身

主な仕事内容: 商業施設や大型ビルでインターネットや電話が利用出来るよう、ネットワーク通信工事作業および日程の調整
得意なボール: ツーシーム

大学時代の絆

— お二人は亜細亜大学時代、1学年違いの先輩後輩ということですが、投手と野手でポジションが違う中、接点はどれくらいありましたか？

安達 正直言うと僕は投手で聖也は野手なので、接点はそれほどなかったかなとは思いますが、寮の中で一緒にご飯を食べたり、お風呂に入ったり、家族みたいな存在だったのはよく覚えています。

— 木浪選手から見て、安達さんはどんな先輩でしたか？

木浪 もうにじみ出るようなこのイケメン(笑)。すごく優しい先輩でいつも気軽に声をかけてくれて、亜細亜大学って練習が厳しいので、みんなしんどくて疲れていても、安達さんだけはこの笑顔で、よく話しかけてくれましたね。

— どんなピッチャーだった印象がありますか？

木浪 安達さんはケガをされていた時期があって、投げている印象はそこまでなくて。どちらかと言うと相手の偵察とか裏方さんのような役割もされていたんですけど、それもすごく一生懸命やってくれて、自分がメンバーで出ている時もデータ収集を率先的にやってくれた印象がすごくあります。

— 逆に安達さんから見て、木浪選手はどんな後輩でしたか？

安達 自分たちの学年の時にも試合に出て活躍していましたし、打撃にしろ守備にしろ、特に守備ですね、プレーの部分は本当にすごいんですけど、入寮した時に青森のなまりが強くて(笑)。でもそれがとても「かわいいな」と思ったのは覚えています。自分の中に「かわいい存在」として聖也はいて、今でもテレビを見て、かわいいなと思います。

— 将来木浪選手はプロに行くだろうと思っていましたか？

安達 そうですね。大学の時から思っていました。そのあと社会人野球で活躍しているのも見ていましたし、(Hondaに)同級生もいたのでいろいろ聞いていて、プロに行くだけじゃなくて、しっかり活躍するだろうなと思っていました。

— 大学時代の思い出で言うと、安達さんからも聞いてみたいことがあるんですね。

安達 そうなんです。亜細亜大学の野球部で野球も寮生活も、いろんなことをしてきたけど、今でも続けていることって何かある？

木浪 続けていること……。

安達 例えば野球ノートとか書いてる？

木浪 ああ！ノートは書いてるっす。

安達 書いてるんだ！1ページちゃんと書いてるの??



大学での学びは野球だけじゃない

木浪 亜細亜大学は野球ノートを毎日1ページ、端から端まで書かないといけなかったんです。だからみんな文字を大きく書いたりしていたんですけど(笑)。今もその日に気づいたこととかを毎日書くようにしています。亜細亜大学を卒業して(野球ノートを)やめる人も多くて、自分も正直社会人の時はやっていなかったんですけど、プロに入った時に「こういうのを自分でちゃんと書いた方がいい」と思ったんです。大学の時って、正直ちょっと嫌々書いていた部分があるじゃないですか？

安達 間違いないです(笑)。

木浪 だけど、「自分のために」という意味で今は書いていますね。その4年間の経験ももちろんあると思います。

安達 たまに、夢に出たりしない？

木浪 えっ!?

安達 僕はたまにあるんですよ(笑)。夢で「あれ、ノート書いてない!」みたいな。それくらいプレッシャーをかけられていたんだと思うんですけど、自分もこれからノート書きます!

— そういうノートも含めて、亜細亜大学だからこそ身に付いたことは多いですか？

木浪 そうですね。「野球だけじゃない」というのが亜細亜大学の良いところで、礼儀とか挨拶とか、社会に出た時に通用できるようにと監督さんが常々口うるさく言ってくださったんです。それが今、大学時代に教わっていてすごくよかったなと思います。

— やっぱりそうやって4年間の厳しい生活を乗り越えた者同士の絆は強いですか？

安達 強いですね。卒業して8年ですけど、今でも連絡を取り合いますし、繋がりは強いと思います。

木浪 自分も結婚式とかで当時の仲間に出たりするんですけど、まあ話が止まらないので(笑)。ご飯に行っても「あの時こうだったな、ああだったな」って。

安達 本当、止まらないよね。

— それくらい濃密な4年間だったという感じですよ。

安達 そうですよ。全部一緒に過ごしていましたから。



自分の役割を理解する

—ここからは安達さんの方から、直接木浪選手にいろいろと聞いていただきます。

安達 はい、よろしくお願いします。昨年は日本一、おめでとうございます。

木浪 ありがとうございます！

安達 本当に強いチームだと思いました。聖也から見て、今のタイガースの強さはどこにあると思う？

木浪 試合に出ている人も出ていない人も、全員が自分の役割をしっかりとわかっているところですね。自分がどの立ち位置にいて、どういう役割が必要なのかを一人一人しっかりとわかっていると思います。試合に出ていない人も、試合に出るための準備と、出ている人を支える役割もしっかりできていて、本当に一致団結しているなということが、やっていてすごく感じることでですね。

安達 その中で、やっぱり岡田監督の存在は大きいんじゃないかと思うんですが、どういうところにすごさを感じる？

木浪 やっぱりすごく選手を見ているというか、口数は少ないんですけど、細かいところを見ているなど。だから的確な指示もできると思うんですけど、本当に視野がこの辺（遠くを指差す）までずっと

ある感じで、よく見ているなという印象がありますね。

安達 なるほど。選手と話さないけど見て…。

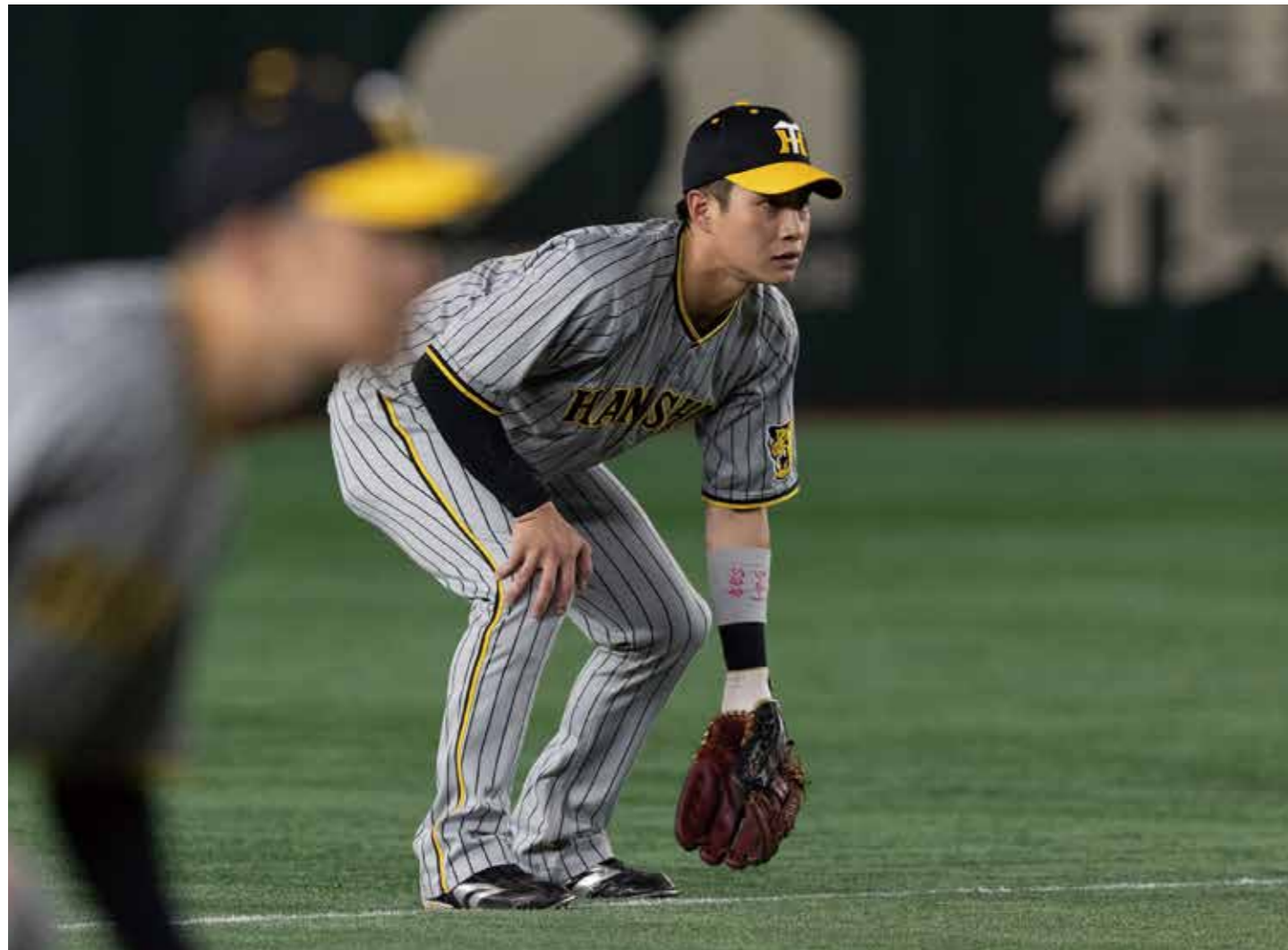
木浪 もちろん話をする時もあるんですよ。全く話さないわけではなくて、たまに話すからこそピリッとする時もあるじゃないですか。あとはずっと見て、的確なアドバイスをくれたり、「ちょっと疲れてるのか？」と話しかけてくれたりする時もありました。

安達 そういう気遣いもちゃんとされてるんですね。

木浪 そうですね。

安達 こうして聖也は日本一チームのショートになって、ゴールデン・グラブ賞も獲って、ポジションを絶対渡したくないという思いはやっぱりさらに強くなった？

木浪 そうですね。それはもちろんですし、1年で終わりにたくないなど。今年プロ6年目で、今までいろんな経験をしてきて、昨シーズンはすごく自分の中で良かったんですけど、そこで満足はしていません。「もっとうまくなる」「チームのためにもっとこういうことができる」、そういう思いがどんどん出てくるようになったんです。だから向上心しかないですし、1年で終わりにたくない、ずっとタイガースのショートで試合に出たいという気持ちがあります。



あきらめずに向き合う

安達 我々も会社で勤める中で、夢を叶えるために日々頑張っているんだけど、聖也が今こうしてプロ野球選手になるという夢を叶えて、第一線で頑張っている要因って何だと思う？

木浪 一番の要因は、純粋に「野球が好きだ」ということと、やっていて「楽しい」と思えない時期もありましたけど、今は「楽しい」と思えるから頑張っているんじゃないかと思います。活躍すれば家族もハッピーになるし、自分ももっとも上に行こうという気持ちになりますし、全て野球が自分を成長させてくれていますね。今まで野球しかやってこなかった、ということもありますけど(笑)。

安達 すごい。やっぱり極めてるんだね。最後に、我々の会社にもたくさんの新入社員が入ってくるんだけど、夢を叶えようとしている若者たちに一言エールを送っていただけますか？

木浪 そうですね、一番大事なことは「自分を信じる」ことかな。一度くじけそうになるとすぐにあきらめる人もいると思うんですけど、

そうではなくてダメなことに対して向き合って、立ち向かっていったらもっと良くなると思うんです。あきらめてほしくないですよ。例えば自分だったら、野球でうまくいかない時、「うまくいかないからいいや」ってあきらめたら、すぐクビになってしまいますから。そこで、どうして自分がダメなのかをしっかりと考えて、良くなるためにどうするかを考えてやっていけば、「絶対いつかうまくいく」と自分は信じてやっていたので。若者だけではなく、みんなにそういうことを伝えたいですね。

安達 勉強になります、本当に。短い時間だったけど今日はありがとうございました。ぜひ、連覇を期待しています。今年から阪神甲子園球場の1、3塁ベンチの付近にDTSの広告が出るので、それが試合中に目に入った時は「安達の会社だ」と思ってくれたらうれしいです(笑)。

木浪 オッケーです(笑)!「安達さんだ!」って指差します!



2024年シーズンより阪神甲子園球場1、3塁選手ベンチ上座看板に社名広告を掲出しました。

インタビュー後の感想

聖也が活躍する姿はテレビやニュースでチェックしていたので野球面の情報は常に入っていました、実際に会うとやはりプロという第一線で活躍する選手は体つきや、顔つきが違うなと思いました。特に握手した時の手は、本当に沢山の努力をし、色々な覚悟、責任を背負ってプレーしてるんだと強く感じました。インタビュー中は、笑顔で自分に気を配りながら話してくれて、野球選手としてだけでなく一人の人間としても魅力があるなと思いました。職種や働く場所は違いますが、聖也を見習って私自身もしっかりと成長出来るよう頑張ろうと思います。(安達淳也)

2024年DTS野球部選手紹介



野球部部长
鎌田 哲司
 KAMATA TETSUJI
 1964年6月25日生
 神奈川県出身

30 監督
増田 尚行
 MASUDA NAOYUKI
 1972年7月21日生
 埼玉県出身

34 コーチ
奈良 弘将
 NARA HIROMASA
 1975年9月24日生
 東京都出身

①投打 ②身長体重
 ③入社年
 ④生年月日
 ⑤出身地
 ⑥出身高校
 ⑦出身大学



11 投手
安達 淳也
 ADACHI JUNYA
 ①右/右 ②175cm75kg
 ③2016年
 ④1993年4月10日
 ⑤東京都
 ⑥岩倉高等学校
 ⑦亜細亜大学

14 投手
岩崎 純司
 IWASAKI JUNJI
 ①右/右 ②176cm81kg
 ③2020年
 ④1997年8月29日
 ⑤神奈川県
 ⑥藤沢翔陵高等学校
 ⑦神奈川工科大学

16 投手
武内 寛斗
 TAKEUCHI HIROTO
 ①右/右 ②176cm78kg
 ③2024年
 ④2001年7月7日
 ⑤神奈川県
 ⑥八王子高等学校
 ⑦上武大学

17 投手
関 悠平
 SEKI YUHEI
 ①左/左 ②185cm69kg
 ③2016年
 ④1993年7月12日
 ⑤神奈川県
 ⑥日本大学第三高等学校
 ⑦拓殖大学



18 投手
市川 大晴
 ICHIKAWA TAISEI
 ①右/右 ②175cm72kg
 ③2024年
 ④2001年8月27日
 ⑤静岡県
 ⑥常葉大学付属橋高等学校
 ⑦亜細亜大学

19 投手
落合 幸喜
 OCHIAI KOKI
 ①右/右 ②180cm85kg
 ③2020年
 ④1997年12月9日
 ⑤神奈川県
 ⑥藤沢翔陵高等学校
 ⑦神奈川工科大学

21 投手
高橋 裕汰
 TAKAHASHI YUTA
 ①左/左 ②183cm83kg
 ③2022年
 ④1999年10月30日
 ⑤神奈川県
 ⑥八王子高等学校
 ⑦上武大学

8 捕手
張 大地
 HARI DAICHI
 ①右/右 ②178cm80kg
 ③2023年
 ④2000年10月14日
 ⑤徳島県
 ⑥徳島城南高等学校
 ⑦亜細亜大学



24 捕手
本橋 海斗
 MOTOHASHI KAITO
 ①右/左 ②170cm75kg
 ③2016年
 ④1993年11月16日
 ⑤神奈川県
 ⑥飛龍高等学校
 ⑦神奈川工科大学

27 捕手
成田 尚輝
 NARITA NAOKI
 ①右/右 ②173cm96kg
 ③2020年
 ④1997年10月20日
 ⑤兵庫県
 ⑥三田西陵高等学校
 ⑦亜細亜大学

3 内野
高山 凌輔
 KOYAMA RYOSUKE
 ①右/左 ②172cm78kg
 ③2019年
 ④1996年6月18日
 ⑤熊本県
 ⑥九州学院高等学校
 ⑦上武大学

5 内野
中村 洸星
 NAKAMURA KOSEI
 ①右/左 ②168cm75kg
 ③2024年
 ④2001年11月19日
 ⑤東京都
 ⑥東海大学菅生高等学校
 ⑦神奈川工科大学



6 内野
宇田川 己夢
 UDAGAWA KOMU
 ①右/右 ②175cm73kg
 ③2024年
 ④2001年5月2日
 ⑤東京都
 ⑥八王子高等学校
 ⑦亜細亜大学

7 内野
谷岡 享玲
 TANIOKA KYOREI
 ①右/左 ②172cm76kg
 ③2023年
 ④2000年7月2日
 ⑤高知県
 ⑥高知高等学校
 ⑦亜細亜大学

10 内野
小野寺 拓海
 ONODERA TAKUMI
 ①右/右 ②183cm95kg
 ③2020年
 ④1997年10月28日
 ⑤静岡県
 ⑥常葉大学付属橋高等学校
 ⑦亜細亜大学

1 外野
石橋 勇汰
 ISHIBASHI YUTA
 ①右/右 ②175cm82kg
 ③2018年
 ④1995年7月11日
 ⑤福岡県
 ⑥福岡第一高等学校
 ⑦日本経済大学



4 外野
青木 大将
 AOKI DAICHI
 ①右/左 ②176cm72kg
 ③2015年
 ④1992年4月4日
 ⑤埼玉県
 ⑥春日部東高等学校
 ⑦上武大学

9 外野
今田 塊都
 IMADA KAITO
 ①右/左 ②179cm86kg
 ③2021年
 ④1999年1月30日
 ⑤鹿児島県
 ⑥樟南高等学校
 ⑦上武大学

15 外野
仲宗根 輝弥
 NAKASONE TERUYA
 ①右/右 ②177cm77kg
 ③2012年
 ④1989年9月23日
 ⑤沖縄県
 ⑥具志川商業高等学校
 ⑦亜細亜大学

22 外野
伊藤 寛太
 ITO KANTA
 ①右/左 ②181cm76kg
 ③2021年
 ④1998年8月11日
 ⑤愛知県
 ⑥静清高等学校
 ⑦亜細亜大学

DTS野球部試合日程

2024年シーズン

TJK（東京都情報サービス産業健康保険組合） 事業所対抗軟式野球大会

4月6日(土)～5月25日(土)
場所：大宮けんぼグラウンド

中央区軟式野球連盟 春季大会

4月14日(日)～6月30日(日)
場所：月島運動場

MLBドリームカップ

8月18日(日)～9月8日(日)
場所：未定

中央区軟式野球連盟 秋季大会

9月15日(日)～11月10日(日)
場所：月島運動場

日刊スポーツ杯争奪 東京総合健保野球大会

10月6日(日)～10月20日(日)
場所：大宮けんぼグラウンド

練習予定

4月27日(土)、7月6日(土)、7月13日(土)、7月20日(土)、7月27日(土)
8月3日(土)、9月7日(土)、9月8日(土)、9月9日(土)
2025年2月1日(土)、2月8日(土)、2月15日(土)、2月22日(土)
3月1日(土)、3月7日(金)、3月8日(土)、3月9日(日)、3月15日(土)、3月22日(土)、3月29日(土)
※雨天中止、日程変更の可能性があります。
場所：大宮けんぼグラウンド

DTS野球部部長、監督メッセージ



DTS野球部 部長 鎌田 哲司

DTS野球部のはじまりは、独身寮に住む野球好きの社員が草野球を楽しむ同好会からでした。「仕事一流、遊びも一流」が社のキャッチフレーズだった時代、勝ちにこだわる創業社長から「遊びではなく勝つチームになれ、強くなれば野球部にしてやる」との檄が飛んだとか...奮起したメンバーは、試合と練習、補強を繰り返し、会社の発展と同期をとるようになり強くなりました。

野球部となってからは所属するTJK（東京都情報サービス産業健康保険組合）事業所対抗軟式野球大会、IPI（Information Processing Industry）軟式野球リーグで常勝チームとなりました。

しかし、それに甘んじない勝ちにこだわるDNAが生き続ける野球部は、さらなる高みを目指し、東京都中央区軟式野球連盟に加入。中央区2部リーグで優勝したものの、強敵の多い1部リーグでは苦戦中です。現在のDTSにおける長期ビジョンで大切にしている価値観は「常に変化を楽しもう」です。野球部も苦戦中でも明るく、楽しんでチームの強化を図り、まずは1部リーグ優勝を目指します。



DTS野球部 監督 増田 尚行

DTS野球部は、高校では甲子園を目指し、大学では大学日本一を目指したゴリゴリの野球人で構成されたチームとなっています。平日は仕事で、土日休日の1日を野球部の活動にあてています。そんなDTS野球部は、いつも活気に満ちた雰囲気です。DTS野球部の一番の魅力は野球への情熱です。自慢のチームワークで結束力を高め、互いにサポートし合いながら、試合で最大限のパフォーマンスを発揮できるよう取り組んでいます。

野球ができることに感謝しながら、勝利に向かってこれからもチャレンジし続けていきます。これからのDTS野球部に期待と応援をよろしくお願いたします。